

初夏の訪れを感じる松原中の風景 ②



校門に入ったところで咲き始めた「サツキ」



職員室北側で咲き始めた「キョウチクトウ（夾竹桃・白）」



職員室北側で咲き始めた「キョウチクトウ（夾竹桃・赤）」

※ 「キョウチクトウ（夾竹桃）」… 夾竹桃（キョウチクトウ）は江戸時代の中期に、インドから中国を通って日本へ渡ってきた常緑低木です。夾竹桃（キョウチクトウ）の名前の由来は、葉が細長く竹の葉に似ていて、花が桃の花に似ている事から、夾という漢字の意味で混じるや挟まるという意味の一文字が加わって、竹と桃が混ざり合った様子を表し夾竹桃（キョウチクトウ）という名前が付けられました。花言葉は「注意」、「油断大敵」など。原子爆弾が投下された広島市で最初に咲き始めた花で、「復興のシンボル」となり広島市の「市花」になったということです。

## 色づき始めた「アジサイ（紫陽花）」いろいろ



職員室南側で色づき始めた「紫陽花」



本館北側の庭で咲き始めた「ガクアジサイ」



本館北側に可憐に咲く、アジサイに似た「ランタナ（和名=七変化）」